

【樹木・草花の部屋】

タマスダレ（ヒガンバナ科ゼフィランサス属 Zephyranthes）

和名；ゼフィランサス **別名**；タマスダレ **英名**；

ユリ目 多年草

原産地；北中南米

花言葉；純白の愛

花の色；桃・黄・白



⇒ **写真－1** ゼフィランサス

撮影日：2012年9月11日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん

家庭菜園の片隅の小さな花壇に植えています。
球根植物なので、一度、植え付けるとアッと言う間に増殖。増えすぎるのを抑えるため、3～4年に一度、堀上げて再植付をしています。

写真－2 ゼフィランサスの花 ⇒

撮影日：2012年9月11日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん

花の咲く時期は種によって異なり、春咲き種と夏・秋咲き種がありますが、日本ではどちらかというと夏・秋咲きのほうがポピュラーです



【樹木・草花の部屋】

写真-3 ゼフィランサスの花 ⇒

撮影日：2012年9月11日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん



<ちょっと一言>

結開花時期、乾燥の後に雨が降って球根が潤うと花をわっと咲かせる傾向があるので、レインリリーとも呼ばれます(近縁のハブランサスも同じ理由で、レインリリーと呼ばれることがあります)。

地際から花茎を長く伸ばして、その先端に1輪の花を咲かせます。花は短命で1~3日ほどでしぼんでしまいますが、開花時期は花茎を次々と伸ばすので、果として存外に長い期間楽しむことができます。花色は、白、ピンク、黄色などがあり、6枚の花びらは付け根の部分でくっついて筒状になっています。葉は革紐状で細く、地際から何本も伸びてきます。

近縁種のハブランサスとの違い……。ハブランサスは花が斜め上向きや横向きに咲き、ゼフィランサスは真上に向いて咲くなどで両者を区別しているようです。小生は、葉で見分けています。ハブランサスは幅広、ゼフィランサスは細めで固め……。

ゼフィランサス・カンディダ [Z. candida]：もっとも多く見かけられ、で「タマスダレ」の名前で親しまれています。ペルー原産で、明治の初めに渡来したとされています。梅雨時期から秋にかけて、可愛らしい白い花を咲かせます。

ゼフィランサス・キトリナ [Z. citrina]：ギアナなどに分布、鮮やかな黄色い花が特長。

ゼフィランサス・ロセア [Z. rosea]：グアテマラ、西インド諸島に分布。花はピンク色で中心に白いぼかしが入る。